

## グアーガム酵素分解物

### 1.食品添加物名

グアーガム酵素分解物(Enzymatically hydrolyzed guar gum)

### 2.基原・製法・本質

「グアーガム」を酵素( $\alpha$ -ガラクトシダーゼ、ヘミセルラーゼ)で分解して得られたものである。主成分は多糖類である。

### 3.主な用途

増粘安定剤

### 4.安全性試験成績の概要

#### (1)単回投与試験

急性経口LD<sub>50</sub>はマウス、ラットで6,000mg/kg超と考えられる<sup>1)</sup>。

#### (2)反復投与試験

SDラットを用いた混餌(0.2、1.0、5.0%)投与による13週間の反復投与試験において、検体投与に起因する毒性学的影響は認められていない。無毒性量は、3.1g/kg/day と考えられる<sup>2)</sup>。

#### (3)変異原性試験

細菌を用いた復帰変異試験の結果は、陰性と判断される<sup>3)</sup>。

#### (引用文献)

1.K-13(グアーガム分解物)のマウスおよびラットにおける経口投与急性毒性試験,1988,社内データ(未公表)

2.K-13(グアーガム分解物)の雌雄ラットにおける飼料添加投与による13週間毒性試験, 1989, 社内データ (未公表)

3.K-13(グアーガム分解物)の変異原性試験, 1990, 社内データ (未公表)